

5月29日「第2回 SDGs 講演会」が、本校視聴覚教室で実施されました。



今年度からスタートした山田高校 SDGs 探究活動の報告です。

第2回 SDGs 講演会が、1年生の総合的な探究の時間（5/29）の中で開催されました。

テーマは、『日本のSDGsの現状と課題』～朝日新聞社の取り組み～

講師は、朝日新聞大阪本社 代表室 CSR 推進担当次長 濱上 達也 氏です。

講演を聞いて、さて、皆さんは何のために学びますか？

●講師 朝日新聞大阪本社 代表室 CSR 推進担当次長 濱上 達也 氏のメッセージ

『私たちは地球を救う機会を持つ最後の世代になるかもしれない。』

私たち一人ひとりが、課題を「自分ごと」として考え、努力することが求められています。

2030年以降の世界の様子はどうなっているのか、みなさんが何をして、どんな社会を目指せば良いのか、その「手びき」となるのがSDGsです。

「あなたは、何のために勉強しますか？」

これから講演会が続くと思いますが、それらを通してぜひ「自分の答え」を見つけてください。

●講演後の生徒発表の様子（6/5）



●生徒のレポートより抜粋

- 私たちは学校で学ぶことができているけれど、この日本の中での認知度は学生 20%と低いなと思いました。その半分くらいが新聞を読んで知ったと聞いて、やっぱりこれからも山田高校のように学校で学ぶ機会を増やした方がいいと思いました。
- 日本はジェンダー平等についてまだまだだということです。世界の中で日本の女性議員数ランキングは 165 位、男女平等ランキングは 110 位と、下の方でした。最近ジェンダー平等に関するものには厳しいなとテレビなどを通じて感じていたので、この順位を見たときには驚きました。
- 一番印象に残っている内容はプラスチックごみについてです。自分たちが知らない間にマイクロプラスチックを食べてしまっているかもしれない、と考えるとちょっと怖くなりました。これを聞いて、レジ袋をもらわない、水筒を持ち歩く、など自分にできることはやっていって、こういった被害が少しでも減ればいいなと思いました。この講演で、学生でも色々な活動に参加できるということがしっかりと分かったので、私も積極的に参加できるようにして、日本のSDGsの認知度を少しでも上げていき、17個の目標のうち一つでも多くの目標が達成できるようにしたいと思いました。
- 私はプラスチックごみを増やさない活動をしようと思いました。まず、エコバッグを持参して買い物に行くこと、それからプラスチックの使い捨ての皿、コップは買わない、そして多くの人に呼び掛けることです。そもそもプラスチックの使い捨ての皿、コップは売るべきではないと考えます。あまり環境にはよくないことだとして、紙製があるのでそれで十分だと思います。
- 私はこの講演を聞いて、高校生のSDGsの取り組みについて考えました。SDGsを推進するためには、SDGsの存在を知らねばなりません。そしてSDGsの認知度を20%から100%にするために、手洗い場に「6安全なトイレと水」のマークと節水のお願ひ、ゴミ箱には「12つくる責任つかう責任」のマークと分別の呼びかけ、食堂には「2 飢餓をゼロに」「8 働きがいも経済成長も」のマークに食品廃棄やフェアトレードの説明をつけるなどの、看板やポスターを設置する取り組みを、山田高校でも行うべきだと考えました。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS  
世界を変えるための17の目標



(\*) SDGsとは、2015年国連で決めた、人類が達成すべき17個の目標のことで、Sustainable Development Goalsの略です。